

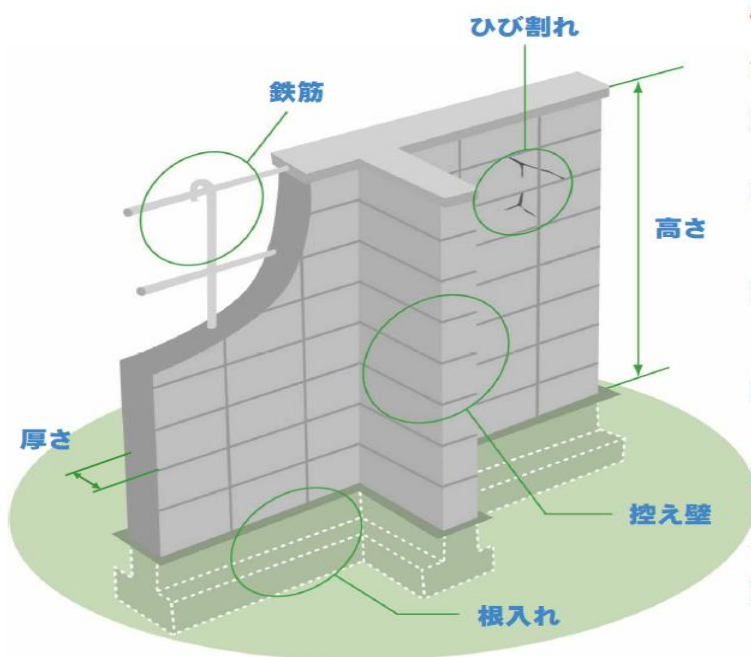
## 通学路における既存ブロック塀等の安全点検を実施しました

平成30年6月10日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、ブロック塀が倒壊し、2人が死亡する事故が発生しました。

この事故を受け、同年より当事務所は管内市町村（喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町）と協力し、**小中学校の主要な通学路における、既存ブロック塀等の安全性について点検を行い**、点検結果を所有者等にお知らせしています。

ブロック塀等の点検のチェックポイントは以下のとおりです。

### ブロック塀の点検のチェックポイント



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
  - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
  - ・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上）
- 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
  - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
  - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
  - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」 日本建築防災協会 2013. 1 より一部改



今年度は、11月に猪苗代町と協力し、町内の既存ブロック塀等を点検し、点検結果について所有者等にお知らせしました。

今後も喜多方建設事務所では、管内市町村と協力し、令和3年度内完了を目標に、小中学校の主要な通学路における、既存ブロック塀等の安全性について点検を行います。

11月点検状況（猪苗代町）

### ～95th 喜多方建設事務所の歴史～

喜多方建設事務所は、大正14年に若松土木監督所の管轄区域の分割により、喜多方市町南5018（現在職員公舎建設地）に前身である喜多方土木監督所が設置されて以来、95年経過しました。昭和53年11月、喜多方合同庁舎の完成により、現在地に移転しました。

### 福島県喜多方建設事務所

〒966-0901

福島県喜多方市松山町鳥見山字下天神6番地の3

TEL 0241-24-5706（建築住宅課）